

インドネシア経済危機

—産業・インフレ・実物経済への影響の分析—

石田 正美 著

2007 年 3 月

独立行政法人 日本貿易振興機構

アジア経済研究所

まえがき

1997年1月、筆者はアジア経済研究所の海外派遣員として、インドネシアに赴任した。今思うと、当時はインドネシアが「東アジアの奇跡」とも言える著しい経済成長を邁進していた時期であった。筆者がまず通ったインドネシア大学文学部付属のインドネシア語の語学学校（Bahasa Indonesia Penutur Asing: BIPA）では、同学校が開講されて以来の200名を超える外国人が入学、そのなかには日本企業の研修生が多く留学していたことから、当時のインドネシアでのビジネスへの期待の強さが窺われた。ホテルも4星ホテルが100ドルをはるかに超える高いレートであったほか、筆者が語学学校を卒業して1997年9月に入学した大学院の学費が1学期円換算で25万円にも上ったのを記憶している。

しかし、赴任して半年余りでアジア通貨危機が勃発した。大学院の講義で教員はインドネシアのファンダメンタルズはタイより良いので問題はないと説明していたのを記憶しているが、1998年に入ると状況はタイや韓国と比べても、最も深刻な事態へと入っていった。国内の多くの商店で食用油が店頭から消えるといった事態を招き、各地で暴動が起こり始めた。1998年5月には、ジャカルタ暴動が発生、32年間政権の座にあったスハルト大統領が辞任した。下落したルピアの為替レートは回復しないまま、エビ養殖場ではエビが略奪にあたり、輸出向けセーターを運んだトラックがハイジャックに遭うといった混乱を招いていた。さらに、先述のホテルのレートは50ドル未満に、大学院の学費も円に直すと5万円から10万円程度の金額にまで下がっていた。

インドネシア人にしてみれば、非常に深刻な事態であったに違いない。しかし、経済学を学び、研究する者としては、経済・社会の変化には非常に興味深いものも感じられた。統計データが既にほとんどそろった段階で、データを用いて当時の状況がどのような状況であったのかをみてみたいというの

が筆者の好奇心であった。本調査研究報告書は、このような好奇心に基づき行った平成 17 年度個人研究「インドネシアにおけるアジア通貨危機の実物部門への影響」をまとめたものである。

残念ながら、研究成果として決して読みやすい書籍にまだなっているわけでもなく、また論文としてのまとまりのあるものにもなっていない。ただ、アジア通貨危機の影響に関してこれまで明らかにされていなかった部分は相当描き出すことはできたのではないかと考えている。これをもとに、引き続き筆者もこの研究を続けていきたいと考えているし、また少しでも本報告書で示された内容がほかの研究者に活用してもらえるのであれば、筆者としてはこの上ない喜びである。最後に、1 年間筆者の研究のため、研究時間を提供してくれたアジア経済研究所に心から感謝の気持ちを表明したい。

平成 19 年 3 月 16 日

筆者記す

目 次

第1章 ドキュメントーインドネシア経済危機ー	1
はじめに	1
第1節 経済危機の時期区分	1
第2節 経済危機初期ー急速に衰退したインドネシア経済ー	3
第3節 経済危機深化期ー衰退から混乱へー	7
第4節 為替レート回復初期	14
第2章 研究の経済理論枠組みと利用データ概要	19
はじめに	19
第1節 本研究における経済理論の枠組み	19
第2節 本研究で用いるデータ	24
第3節 本研究の内容	25
〔補 論 A〕 為替レートが下がった場合に、輸出比が増加することの証明	31
〔補 論 B〕 為替レートが下がった場合に、輸入比が低下することの証明	33
〔補 論 C〕 為替レートの変化がもたらす生産の増減への影響	35
第3章 産業連関分析	43
はじめに	44
第1節 投入財輸入比率ールピア下落による直接的影響の分析ー	46
第2節 輸出比率の分析ー経済危機下での輸出ドライブの可能性ー	55
第3節 投入・産出係数からみた産業連関図ー経済危機の波及効果の分析ー	64
第4節 均衡価格モデルによるルピア下落の影響分析	84
第5節 前方連関・後方連関効果の検討ー最終需要低下の影響の検討ー	95

第6節 今後の議論の橋渡しとして	103
〔補論〕 均衡価格モデルと影響力係数と感応度係数	106
第4章 価格分析	111
はじめに	112
第1節 全般的な物価の推移	115
第2節 品目別にみた経済危機下の物価動向	128
第3節 コスト・プッシュ型インフレーションの検証	140
第4節 輸出インフレの可能性	146
おわりに	148
第5章 生産・輸出入の分析	153
はじめに	154
第1節 経済危機下の生産・輸出動向－輸出ドライブの検証－	155
第2節 経済危機下の投入財輸入動向	174
第3節 計量モデルによる実証分析	183
おわりに	188
あとがき	192